

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス マンマミーヤ天王		
○保護者評価実施期間	R8年 1月 5日		～ R8年 2月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数) 11
○従業者評価実施期間	R8年 1月 5日		～ R8年 2月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 3月31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	地域の学校の児童も、特別支援学校の児童も一緒になって、活動を楽しんでくれている事。	児童の特性に合わせて、活動の目標を個別に定めており、職員と一丸になって活動を盛り上げている。また、そういう土壌作りを意識している。	活動内容に偏りが出ないよう、チームで意見交換をしながら、地域の学校であっても支援学校であっても、一緒に楽しめるように計画を立てる。各児童の特性をより深く理解して、より楽しい企画をしていけるようにする。
2	食育	食への興味・関心を促すために一緒に作ったり、買い物への同行なども実施。また、興味の強い児童に役割を持たせ、みんなで作り上げていく雰囲気づくりを意識している。	偏食があっても、食べやすい形状にしたり、調理方法を工夫することで、少しでも興味をもってもらえるようにしていきたい。
3	自然体験	海や川、雪山など危険が多い場所でもいかに安全に体験させるかを考え、ライフジャケットや人員の増員等の対策を講じている。	下見をして、児童の動きをイメージし、どこに何人配置するかなどを事前に検討する。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流	近隣の人との挨拶などはできているが、高齢の方も多いため、イベントへの参加は難しいかもしれない。	日頃から、交流を深めて、参加しやすいイベントなどの調査も必要と考えている。
2	医療・教育との連携	医療は今年から地域の情報交換会などの場面を設けてくれており、今後も引き続き交流できればと考えている。 教育は送迎時の情報共有程度が限界で、なかなかまとまった時間を取っての交流が難しい。放課後等デイサービスの性質上、学校が終わってからがサービス開始になる為、交流の場を設けるとしても時間の調整が難しい印象。	医療・教育ともに、一事業所だけの力では交流は難しいと考えている。自治体や相談機関にも協力を求めながら、場を設けていけるようにしていきたい。
3	きょうだい児支援	当事業所に関わるきょうだい児の相談は時々受けるが、本人達を含めての交流会などは現状できていない。親子イベントへのきょうだい児の参加などを利用しているが、支援に繋げていくまでに、ニーズの調査も足りていない。	ニーズ調査などを含めて、きょうだい児支援についても知識の向上を図っていく。